

マスコットキャラクター「つっちー」

2015年農林業センサス結果の概要（確定値） （安曇野市 平成27年2月1日現在）

— 農業経営体の減少が続く中で、法人化や経営規模の拡大が進展 —

【調査結果の概要】

I 農林業経営体調査結果

1 農林業経営体

農林業経営体数（平成27年2月1日現在）は3,214経営体で、5年前に比べて16.0%減少しました。

このうち、農業経営体数は3,192経営体、林業経営体数は54経営体となり、5年前に比べてそれぞれ16.0%、21.7%減少しました。

図1 農林業経営体数（安曇野市）

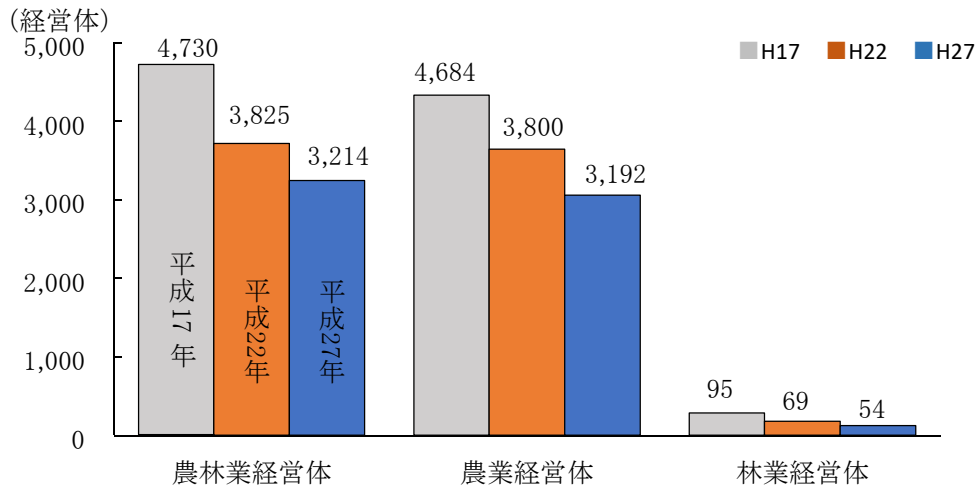


表1 農林業経営体数（安曇野市）

単位:経営体

区分	農林業経営体	農業経営体	林業経営体
平成17年	4,730	4,684	95
22	3,825	3,800	69
27	3,214	3,192	54
増減率(%)			
平成22年/17年	△19.1	△18.9	△27.4
平成27年/22年	△16.0	△16.0	△21.7

注：農業経営と林業経営を合わせて営んでいる経営体があるため、農業経営体数と林業経営体数の合計と農林業経営体数は一致しない。

2 農業経営体

(1) 農業経営体数

農業経営体のうち、家族経営体数は3,126経営体で、5年前に比べて16.6%減少した一方、組織経営体数は66経営体で24.5%増加しました。

表2 農業経営体数（安曇野市）

単位：経営体

区分	農業経営体		家族経営体		組織経営体	
		法人経営		法人経営		法人経営
平成17年	4,684	38	4,645	8	39	30
22	3,800	35	3,747	4	53	31
27	3,192	63	3,126	6	66	57
増減率(%)						
平成22年/17年	△18.9	△7.9	△19.3	△50.0	35.9	3.3
平成27年/22年	△16.0	80.0	△16.6	50.0	24.5	83.9

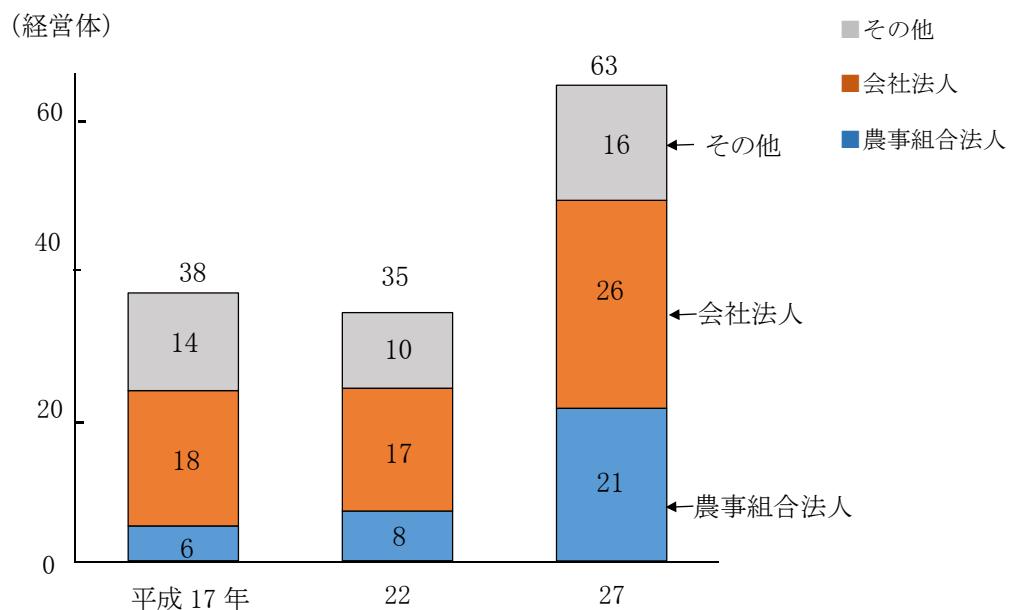
注：農業経営体とは、経営耕地面積30a以上又は農産物販売金額50万円相当以上の規模の農業経営を行うもの若しくは農作業受託を行うものです。

農業経営体のうち法人経営数は63経営体で、5年前に比べて80.0%増加しました。

特に、組織経営体の法人経営数は57経営体で、5年前に比べて83.9%増加しました。この結果、組織経営体に占める法人経営の割合は86.4%となりました。

また、法人経営の内訳をみると、会社法人数は26経営体、農事組合法人数は21経営体となり、5年前に比べてそれぞれ52.9%、162.5%増加しました。

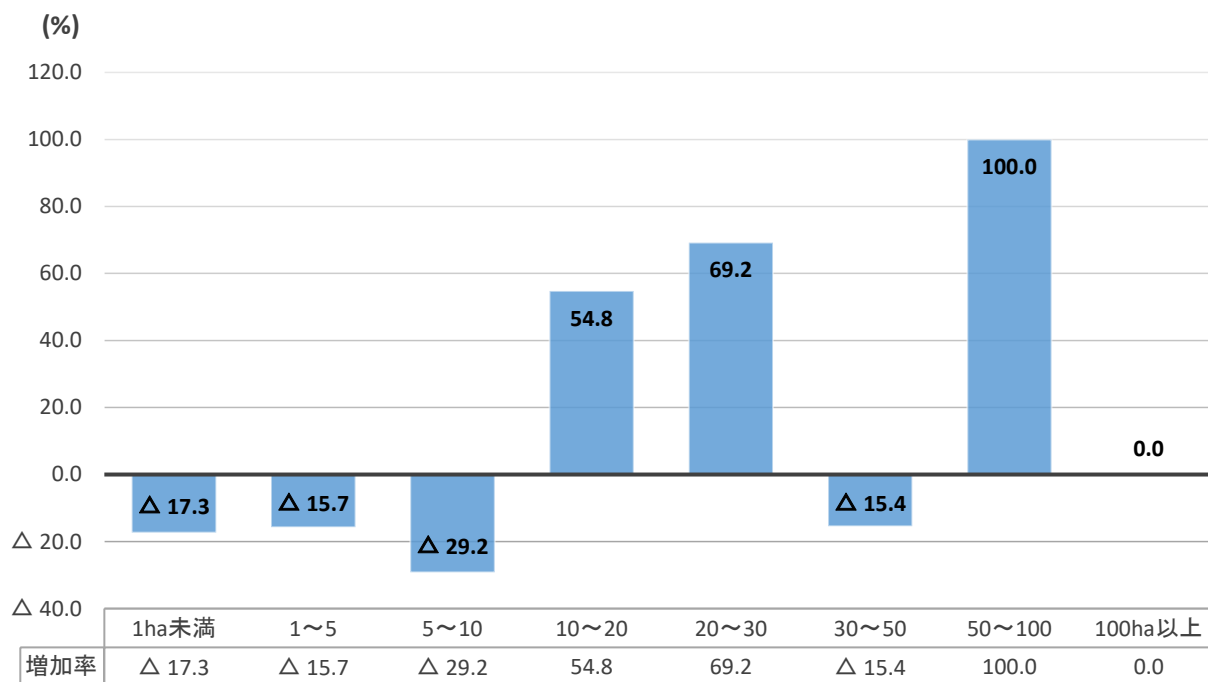
図2 法人化している農業経営体数（安曇野市）



(2) 経営耕地面積規模別にみた農業経営体数の状況

経営耕地面積規模別に農業経営体数をみると、5年前に比べて10ha以上層で30～50haが下がったものの農業経営体数が増加しました。

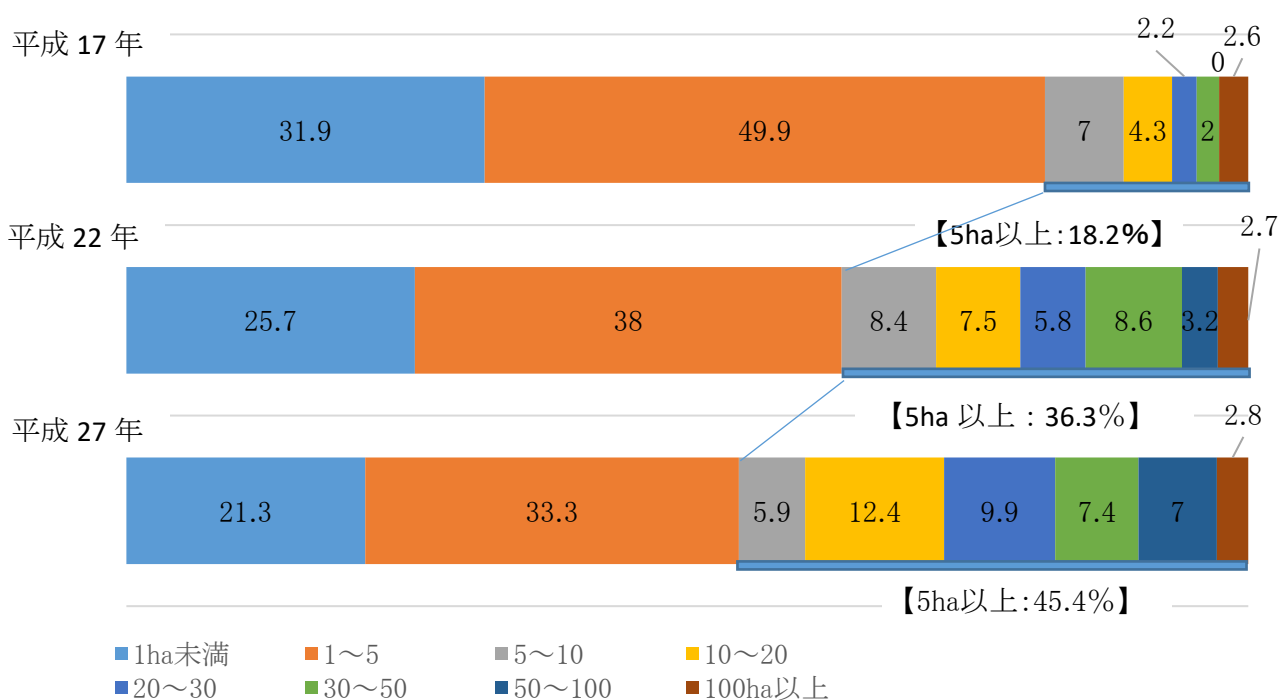
図3 経営耕地面積規模別農業経営体数の増減率



(3) 経営耕地面積の集積割合

農業経営体の経営耕地面積規模別に経営耕地面積の集積割合をみると、5ha以上の農業経営体が45.4%を占め、5年前に比べて9.1ポイント上昇しました。

図4 経営耕地面積規模別の経営耕地面積集積割合（安曇野市）（単位：%）

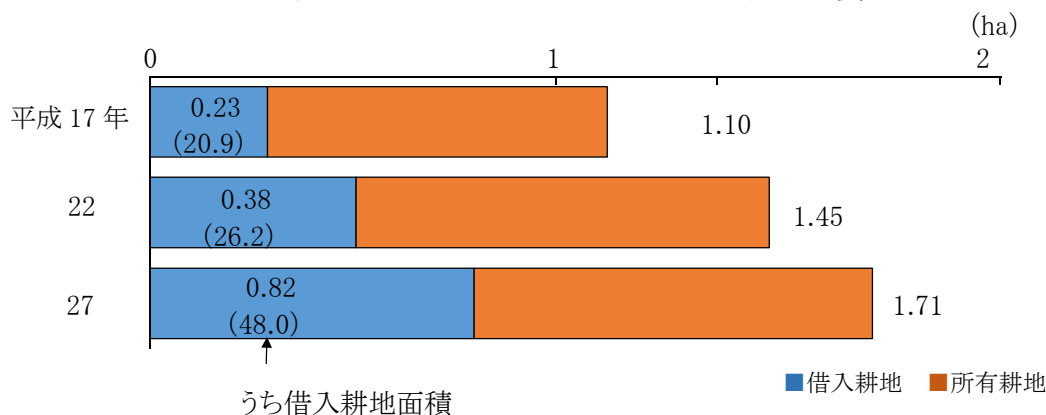


(4) 農業経営体当たりの経営耕地面積の状況

経営耕地のある農業経営体の1経営体当たりの経営耕地面積は1.7haで、5年前に比べて17.9%増加しました。

また、経営耕地面積に占める借入耕地面積の割合は48.0%となりました。

図5 農業経営体当たりの経営耕地面積（安曇野市）



注：() 内の数値は経営耕地面積に占める借入耕地面積の割合です。

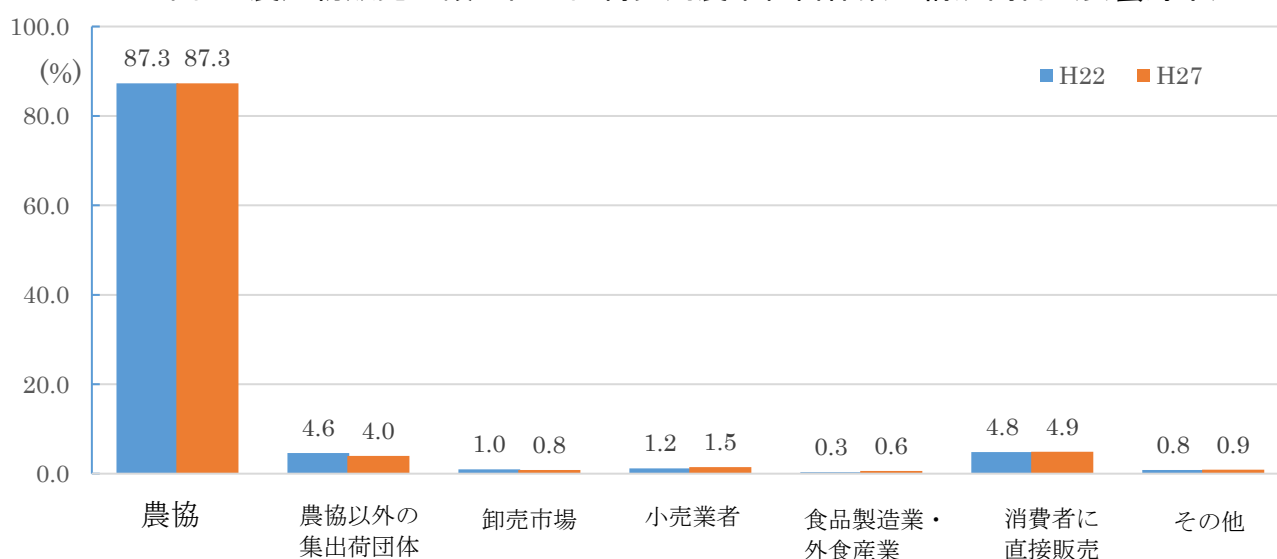
表3 農業経営体当たりの経営耕地面積 単位:ha

区分	面積	借入	借入割合
平成17年	1.10	0.23	20.9%
22	1.45	0.38	26.2%
27	1.71	0.82	48.0%

(5) 農産物販売金額1位の出荷先別にみた農業経営体数の状況

農産物販売金額1位の出荷先別に農業経営体数の構成割合をみると、農協が87.3%、次いで消費者に直接販売が4.9%、農協以外の集出荷団体が4.0%となり5年前と比べても大きな変化はしていません。

図6 農産物販売金額1位の出荷先別農業経営体数の構成割合（安曇野市）

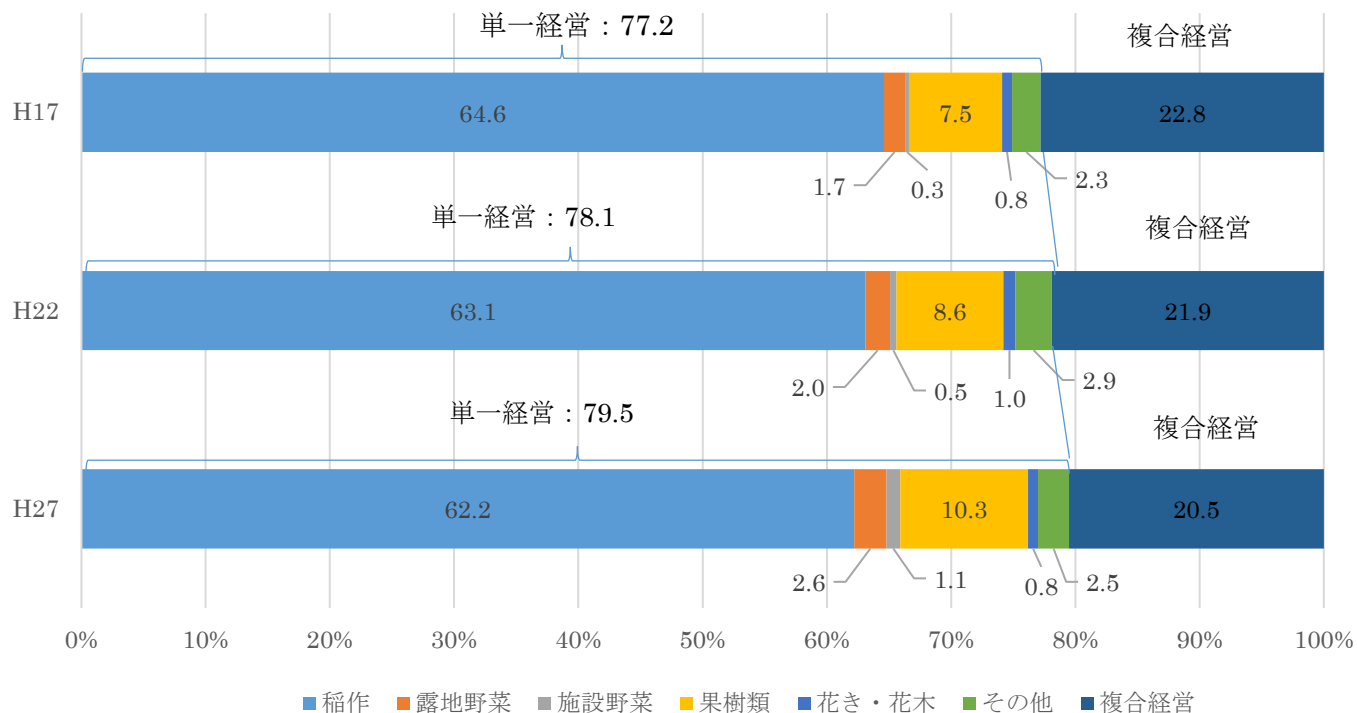


(6) 農業経営組織別にみた農業経営体数の状況

農業経営組織別に農業経営体数の構成割合をみると、単一経営（主位部門の農産物販売金額が8割以上の経営体）が79.5%となり、5年前に比べて1.4ポイント上昇しました。

また、5年前に比べて稲作単一経営は0.9ポイントの低下、果樹類単一経営は1.7ポイントの上昇、露地野菜单一経営は0.6ポイント上昇しました。

図7 農業経営組織別農業経営体数の構成割合（安曇野市）（単位：%）



(7) 農業生産関連事業の状況

農産物の直接販売や加工などの農業生産関連事業を行う農業経営体数は576経営体で、5年前に比べて20.7%減少しました。

表4 農業生産関連事業を行う農業経営体数（安曇野市）

単位：経営体

区分	農業生産関連事業を行っている実経営体	事業種類別（複数回答）						
		農産物の加工	消費者に直接販売	貸農園・体験農園等	観光農園	農家民宿	農家レストラン	
平成22年	農業経営体	726	72	684	19	21	2	6
27	農業経営体	576	41	555	17	14	1	3
	家族経営体	557	32	539	16	11	1	1
	組織経営体	19	9	16	1	3	0	2
増減率(%)								
平成27年/22年	農業経営体	△20.7	△43.1	△18.9	△10.5	△33.3	△50.0	△50.0

農産物販売金額規模別に農業生産関連事業を行う農業経営体数をみると、5年前に比べて5,000万円以上層で増加しています。

表5 農産物販売金額規模別の農業生産関連事業を行う農業経営体数（安曇野市）

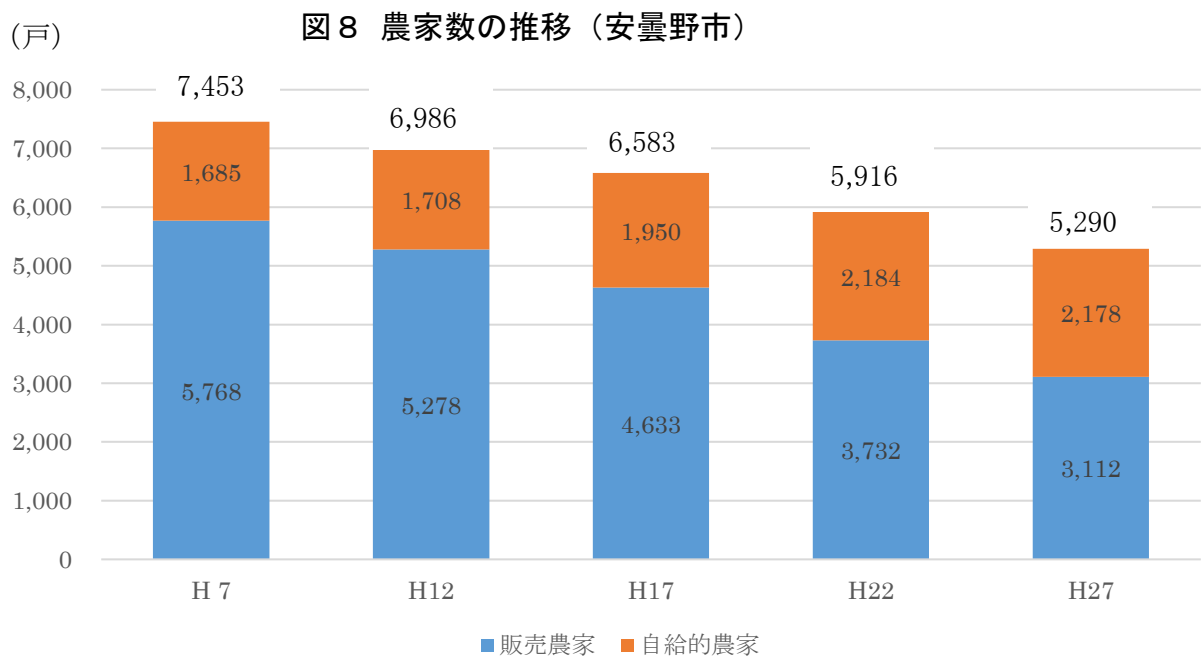
単位：経営体							
区分	計	100万円未満	100～500	500～1,000	1,000～5,000	5,000万～1億円	1億円以上
平成22年	3,580	2,319	978	138	127	10	8
27	3,013	2,027	723	128	114	12	9
増減率（%） 平成27年/22年	△15.8	△12.6	△26.1	△7.2	△10.2	20.0	12.5

3 農家

(1) 農家数

農家数は5,290戸で、5年前に比べて626戸（10.6%）減少しました。

このうち、販売農家数は3,112戸、自給的農家数は2,178戸となり、5年前に比べて販売農家が16.6%減少しました。



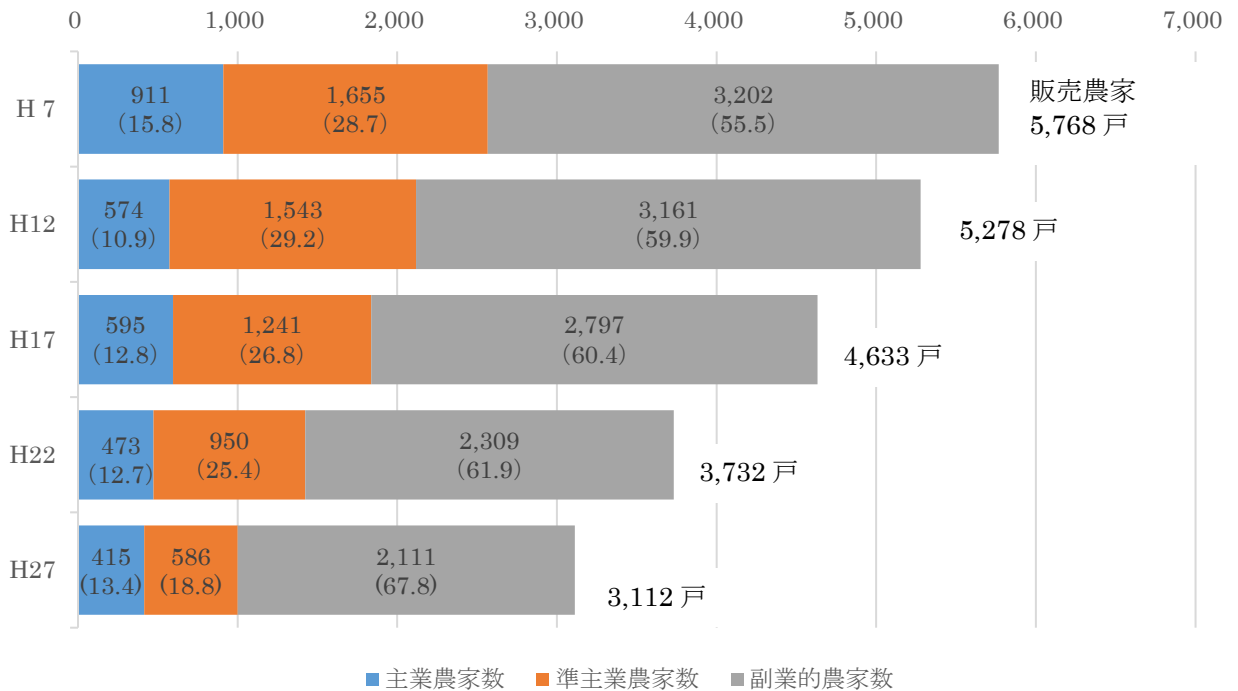
(2) 主副業別農家数（販売農家）

販売農家を主副業別にみると、主業農家は415戸で5年前に比べて58戸（12.3%）の減少、準主業農家は586戸で364戸（38.3%）の減少、副業的農家は2,111戸で198戸（8.6%）の減少となりました。

この結果、販売農家数に占める割合は、主業農家が13.4%、準主業農家が18.8%、副業的農家が67.8%となりました。

図9 主副業別農家数（安曇野市）

（戸）



注：（ ）内の数値は販売農家に占める割合です。

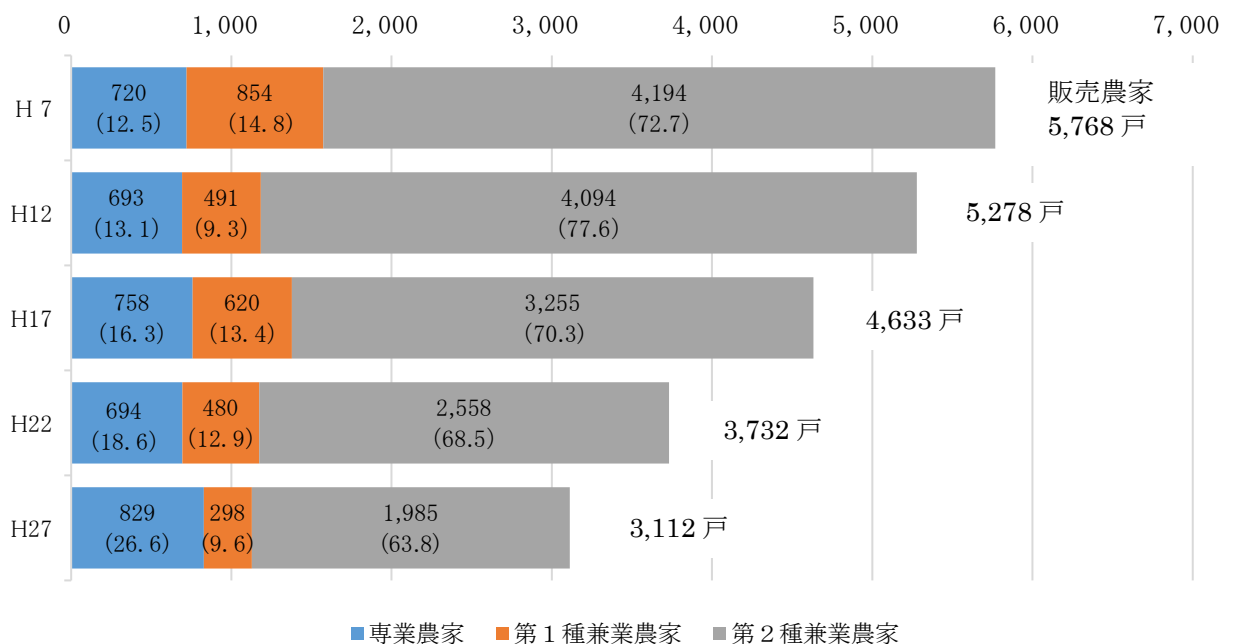
(3) 専兼業別農家数（販売農家）

販売農家を専兼業別にみると、専業農家は829戸で5年前に比べて135戸（19.5%）の増加、第1種兼業農家は298戸で182戸（37.9%）の減少、第2種兼業農家は1,985戸で573戸（22.4%）の減少となりました。

この結果、販売農家数に占める割合は、専業農家が26.6%、第1種兼業農家が9.6%、第2種兼業農家が63.8%となりました。

図10 専兼業別農家数（安曇野市）

（戸）



注：（ ）内の数値は販売農家に占める割合です。

4 労働力

農業従事者（販売農家）

販売農家の農業従事者（自営農業に1日以上従事した者）は8,150人で、5年前に比べて24.2%減少しました。

表6 農業従事者（安曇野市）

単位:人

区 分	農業従事者		
	農業従事者	農業就業人口	基幹的農業従事者
平成 17 年	13,610	7,324	3,952
22	10,749	4,924	4,291
27	8,150	4,212	3,748
増減率(%)			
平成 22 年/17 年	△21.0	△32.8	8.6
平成 27 年/22 年	△24.2	△14.5	△12.7

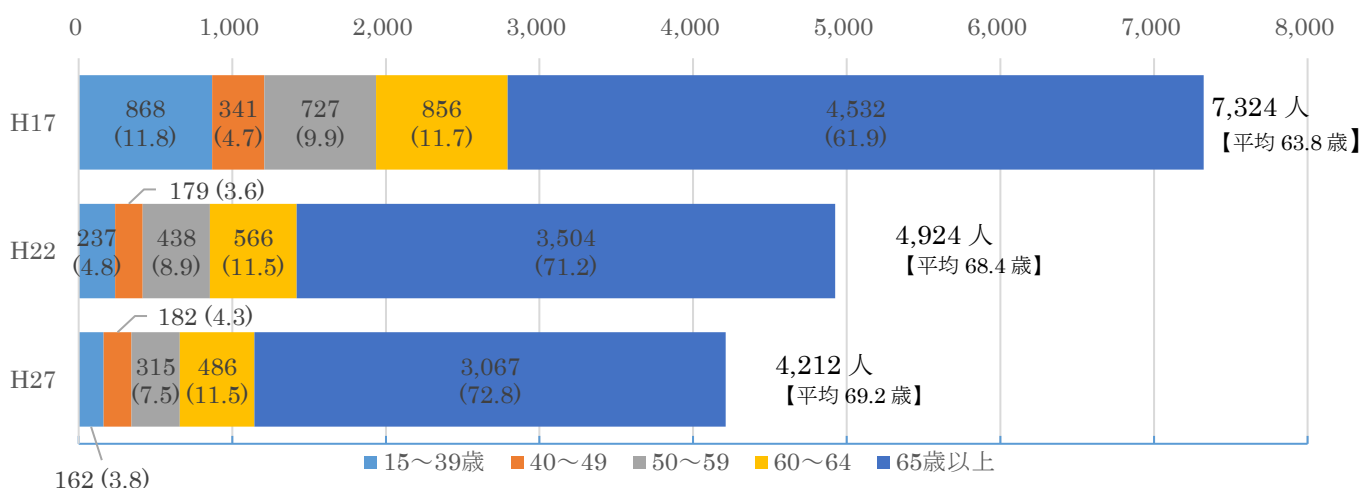
(1) 農業就業人口（販売農家）

販売農家の農業就業人口（自営農業に主として従事した者）は4,212人で、5年前に比べて712人（14.5%）減少しました。

この結果、農業就業人口の平均年齢は69.2歳となり、65歳以上が占める割合は72.8%となりました。

図 11 年齢別農業就業人口の構成（安曇野市）

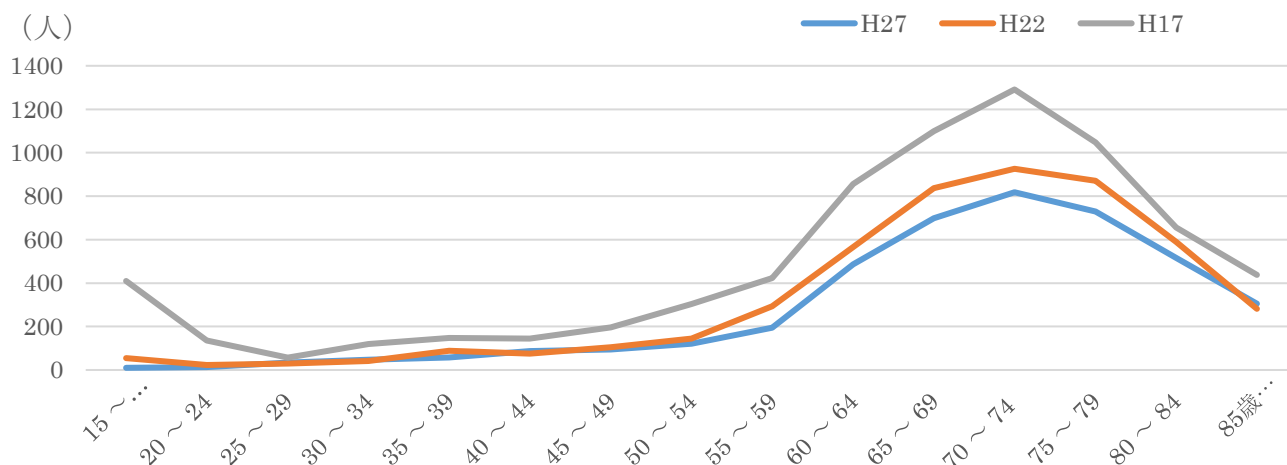
(人)



注：（ ）内は農業就業人口に占める割合、【 】内は平均年齢です。

年齢階層別に農業就業人口の推移をみると、5年前に比べて50歳以上の各層で減少しています。

図 12 年齢別農業就業人口の推移（安曇野市）



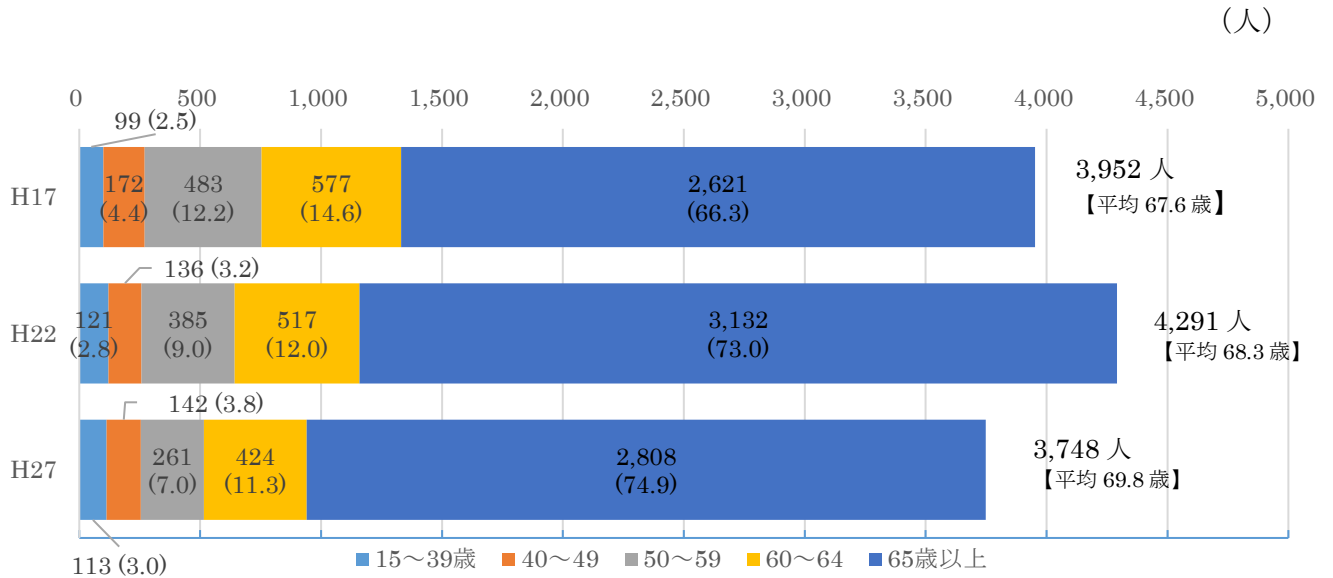
注：H17の調査データは75歳以上までのためH17統計の年齢別人口割合による推移です。

(3) 基幹的農業従事者（販売農家）

販売農家の基幹的農業従事者（仕事として自営農業に主として従事した者）は3,748人で、5年前に比べて543人（12.7%）減少しました。

この結果、基幹的農業従事者の平均年齢は69.8歳となり、65歳以上が占める割合は74.9%となりました。

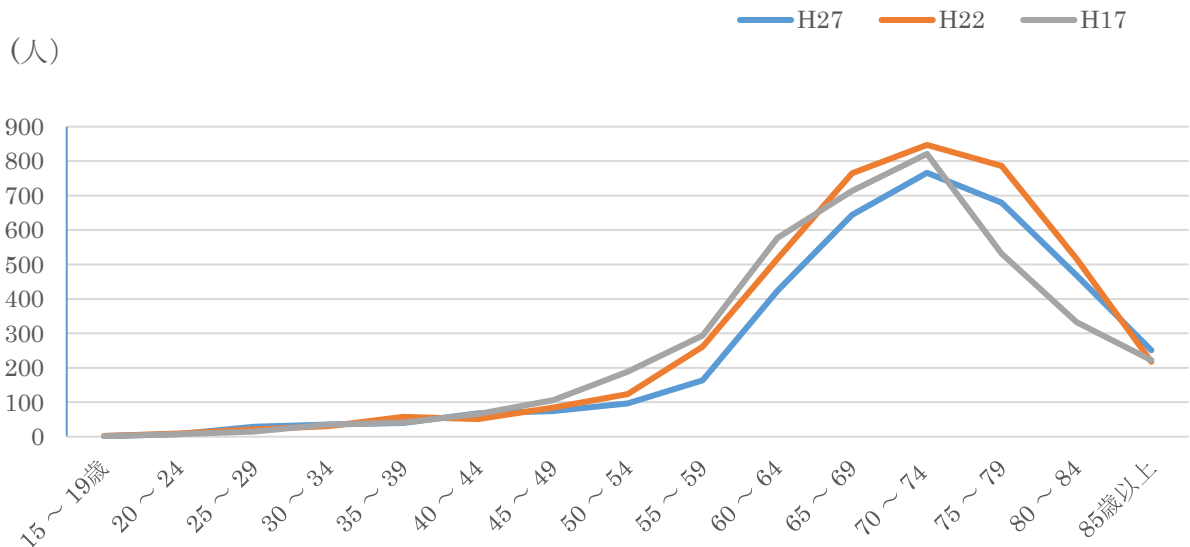
図13 年齢別基幹的農業従事者数の構成（安曇野市）



注：（ ）内は基幹的農業従事者に占める割合、【 】内は平均年齢です。

年齢階層別に基幹的農業従事者の推移をみると、5年前に比べて85歳未満の各層で減少しました。

図14 年齢別基幹的農業従事者数の推移（安曇野市）



注：H17の調査データは75歳以上までのためH17統計の年齢別人口割合による推移です。